

研究機関名:小樽市立病院

1. 研究課題名

絞扼性小腸閉塞における術前 CT を用いた腸管壁の造影強度と腸管切除との関連に関する後ろ向き観察研究

2. 研究期間

2021 年 1 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

3. 対象となる方

2021 年 1 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までに、当院で絞扼性小腸閉塞に対して緊急手術を受けられた患者さんを対象とします。

4. 利用する試料・情報の種類

診療情報(詳細:年齢、性別、既往歴、血液検査結果、CT 画像および CT 所見、発症から手術までの時間、手術所見、術式、腸管切除の有無、手術時間、出血量、術後合併症、ICU 入室の有無、術後在院日数、在院死亡の有無など。

5. 研究の意義、目的

絞扼性小腸閉塞では、腸管虚血や壊死により腸管切除を要することがあります。本研究では、術前 CT 検査における腸管壁の造影強度と腸管切除との関連を調べ、腸管虚血をより客観的に評価する方法について検討します。研究に使用する情報は研究用番号を付して管理し、氏名や患者 ID など個人を直接特定できる情報は解析データから除外します。研究成果を学会や論文等で公表する場合にも、個人が特定されることはありません。

6. 研究の方法

対象となる患者さんの診療録、血液検査結果、CT 画像、手術記録および術後経過を後ろ向きに調査します。術前 CT 検査における腸管壁の造影効果を視覚的に評価するとともに、画像上の腸管壁の CT 値を測定し、腸管切除の有無との関連を検討します。また、年齢、性別、血液検査所見、手術所見、術後合併症などについても比較検討します。本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

7. その他

特記事項なし

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連試料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:研究責任者

所在地:小樽市若松1丁目1番1号

電話番号:0134-25-1211

研究責任者:小樽市立病院 外科 医師 伊藤光平